

# みしま 市議会だより

No.192

2021 5.1

今回の  
定例会



三島の昔の風景  
…詳細は 15 ページをご覧ください

## CONTENTS

令和3年度予算	2
2月定例会 議案審議の概要	4
予算審査	6
代表質問	8
市政に対する一般質問	12
政務活動費・6月定例会のお知らせほか	16

絆で守る安全・安心と  
誰もが生き生きと暮らす  
コミュニティづくり



- 主な事業 -

- **放課後児童クラブ施設整備事業費補助金**  
民間事業者が放課後児童健全育成事業を実施するために必要な施設の整備に対して、その費用の一部を支援します。 …2,520万円
- **都市下水路整備事業**  
台風や大雨時に増水した大場川から都市下水路への逆流を防止するため、谷田都市下水路樋門ゲート開閉装置の改修工事を実施します。 …1,300万円
- **子ども配食支援事業**  
生活困窮家庭などの子どもに直接食事を届けると同時に、その家庭が抱える困りごとを支援につなげていきます。 …39万円

- その他の事業 -

- **スマート市役所の推進**
  - 市立保育園6園において、園児の登園記録などを管理するシステムを運用します。 …214万円
  - 家屋の課税データをデジタル化することで業務の効率化を図るとともに、災害時にはタブレット端末を用いた被害認定調査により、罹災証明書の発行業務の迅速化を図ります。 …157万円

新しい生活様式で進化する  
スマートウエルネスと  
一人ひとりが輝く教育・文化の推進



- 主な事業 -

- **新型コロナウイルス検査関連の業務委託**
  - 「新型コロナウイルス地域外来・検査センター」を引き続き開設し、かかりつけ医にPCR検査が必要と診断された方を対象に検査を行います。 …928万円
  - 市内の社会福祉施設、幼稚園・保育園等で働く職員や65歳以上の市民の方は、無症状であっても検査を受けることができます。 …454万円
- **GIGAスクール推進事業**  
令和2年度に児童生徒1人に1台ずつ配備したタブレット端末の保守運用を行うほか、それらの機器を効果的に活用できるよう専門的な知識を持った支援員を各学校に配置します。 …1億8,964万円

ポストコロナに向け  
発展を続ける都市基盤と  
品格あるガーデンシティの  
まちづくり



- 主な事業 -

- **結婚新生活支援補助金**  
新たに婚姻した若い世帯に対し、住宅取得費用や引っ越し費用を助成します。 …1,800万円
- **大河ドラマ伊豆・富士山周遊促進連絡協議会負担金**  
大河ドラマ放映決定を契機に、県東部・伊豆地域の歴史や文化を全国に発信するとともに、誘客を図るため発足した協議会と連携しながら、積極的に諸施策を推進します。 …100万円
- **中心市街地商業等活性化推進事業**  
変化する時代の中で新たなニーズに応える中心市街地への変革が求められていることから、「まちなかりノバージョン推進計画」の策定を進めます。 …818万円

議会の取り組み

- 聞き取りが難しい方もライブ中継で内容が分かるよう、本会議のライブ中継に字幕スーパーを表示します。 …44万円

ポストコロナを見据え  
市民の安心と希望に向けた  
着実前進型予算

# 令和3年度予算を 審査しました



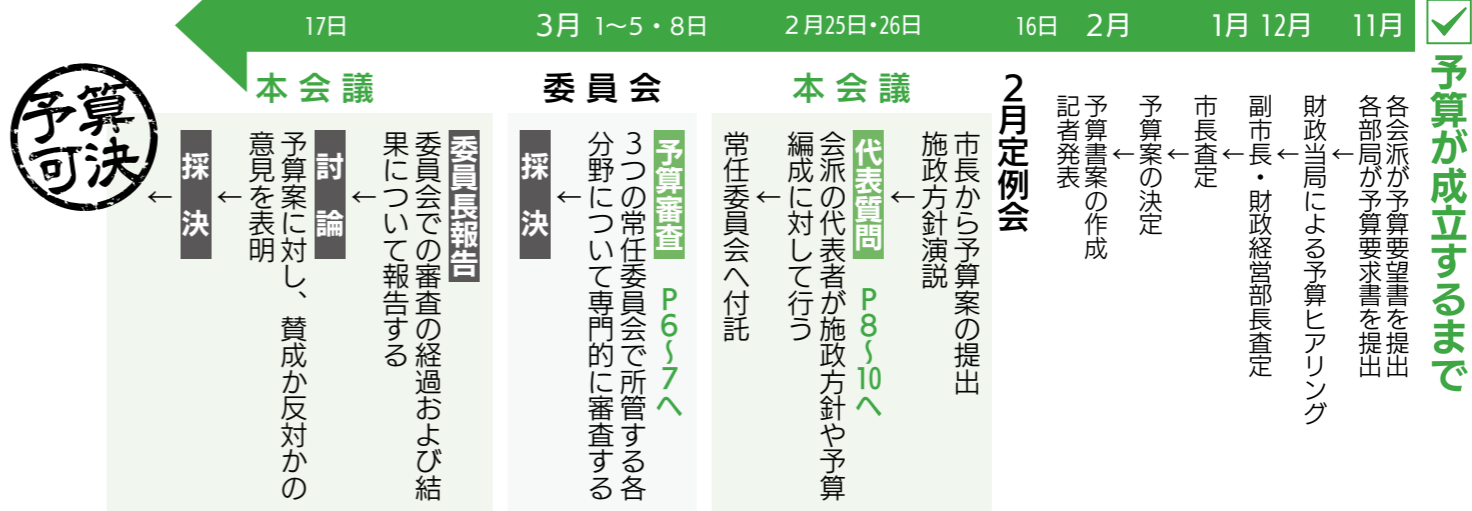
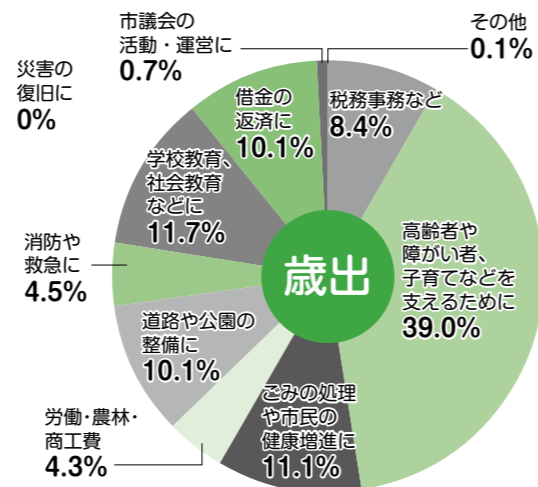
市議会では、市長から提出された予算案について「どんなことに使われるのか」「市民にとって必要な事業なのか」など、慎重に審査をします。  
2月定例会には、一般会計のほか7会計の令和3年度予算案が提出され、審議の結果、全て可決しました。その中から主な内容を紹介します。

令和3年度各会計別予算

会計別	令和3年度	令和2年度	前年度比
一般会計	361億9,000万円	380億5,000万円	▲18億6,000万円
特別会計	114億8,836万円	112億4,072万円	2億4,764万円
国民健康保険	85億9,756万円	80億6,404万円	5億3,352万円
介護保険	15億222万円	14億7,204万円	3,018万円
後期高齢者医療	747万円	579万円	168万円
墓園事業	1億5,029万円	24億9,317万円	▲23億4,288万円
駐車場事業	217億4,590万円	232億7,576万円	▲15億2,986万円
小計	23億8,329万円	23億237万円	8,092万円
水道事業会計	44億9,819万円	45億9,834万円	▲1億15万円
下水道事業会計	648億1,738万円	682億2,647万円	▲34億909万円
合計			

※金額については、調整により万円単位で表記しています。  
※予算編成基本方針内の各事業については、「令和3年度予算案ビジュアル版」を基に記載しています。

一般会計予算を目的別に分類すると…



✓ 予算が成立するまで

# 令和3年 2月定例会

2月16日～3月17日  
会期：30日間

■今回の議案は…

市長提出議案41件  
議会提出議案4件

この号では次の項目を  
Pick up!

**Pick up 1**  
 (議第9号)  
 【令和2年度三島市一般会計補正  
 予算(第11号)】(全会一致)  
 ■補正予算額  
 7億6,911万9,000円

**Pick up 2**  
 (議第19号) 三島市駐車場条例の  
 一部を改正する条例(全会一致)  
 (議第21号) 三島市介護保険条例  
 の一部を改正する条例(賛成多数)

**Pick up 3**  
 (議第36号)  
 (議第37号)  
 (議第38号)  
 人事案件に同意

**Pick up 4**  
 (発議第1号)  
 トンネルじん肺根絶の抜本的な対  
 策を求める意見書

**Pick up 5**  
 (陳情第1号)  
 陳情の審査

三島市議会

詳細は、三島市議会ホーム  
 ページをご覧ください。

## Pick up 1 一般会計予算を 増額補正

# 新型コロナウイルス ワクチン接種の実施に向けて

○新型コロナウイルスワクチン  
 接種体制確保事業  
 1億995万7千円

全国で新型コロナウイルスのワ  
 クチン接種について準備が進めら  
 れており、65歳以上の三島市民を  
 対象に、接種を行うためにかかる  
 経費を追加します。

### 主な質疑

**質疑** 接種体制の確保の状況は

**答弁** 医療関係者の人員配置につ  
 いては医師会と連絡を密に行い、  
 医師・看護師の確保に協力をいた  
 だいている。

接種会場は市内14校の小学校体  
 育館で、1日当たり1カ所につき

120人から240人程度への接  
 種を想定している。高齢者施設に  
 入所している方は、施設医による  
 施設での接種を考えている。



**質疑** コールセンターの委託内容  
 と市民への周知方法は

**答弁** 集団予防接種は三密を避  
 け、完全予約制で実施予定。接種  
 される方の不安を解消するため、  
 相談機能を付加することも検討し

**質疑** 三島市民以外へPayPay  
 ポイントが流れる懸念は

**答弁** 三島市内大型チェーン店での  
 の利用により、三島市民以外へポ  
 イントが流れる可能性も考えられ  
 るが、本事業の目的が利用者の利  
 便性と、市内での消費喚起による  
 地域経済の支援にあることから、  
 市外の方でも一度は三島市を訪れ  
 て利用することとなり、市内回遊  
 による効果も期待できると考え  
 る。

○GIGAスクール推進事業  
 2億5176万9千円

国のGIGAスクール構想を受  
 け、三島市の小中学校の全児童生  
 徒を対象にタブレット端末を導入  
 するための経費を増額します。

### 主な質疑

**質疑** 情報機器運用管理業務委託  
 の内容は

**答弁** 小中学校の授業等において  
 タブレット端末を効果的に活用で  
 きるよう、機器の導入から運用や  
 サポートまでを一体的に委託す  
 る。

委託料に含まれる内容は、5年  
 間のタブレット端末のレンタル料

や端末補償、学習支援ソフトのラ  
 イセンス料となっている。  
 さらに、自宅学習や野外学習等、  
 Wi-Fi環境が整備されていな  
 い場所においても端末を活用する  
 ためのLTE回線使  
 用料や、機器トラブ  
 ル等が生じた際の相  
 談窓口となるヘルプ  
 デスクの設置費用等  
 も含まれる。



**質疑** 債務負担行為の大幅な減額  
 補正と令和2年度予算の増額補正  
 との関係は

**答弁** 本事業の実施には多額の財  
 政負担を要するため、5年間の総  
 事業費について、仕様の見直しを  
 再度行ったこととプロポーザル提  
 案方式により価格競争が働いたこ  
 とから、総額で2億円近い減額と  
 なった。

令和2年度予算の増額理由は、  
 本事業が令和2年度の地方創生臨  
 時交付金の対象となることから、  
 令和3年度以降の財政負担の軽減  
 を考慮し、契約額のうち初期設定  
 やソフトウェアのライセンス料  
 等、令和2年度中に係るイニシヤ  
 ルコストを精査したものである。

## Pick up 2 条例改正

# 再開発事業用地を 駐車場として活用

【その他歳出の主な内容】

人事院勧告に準じた人件費	△1,266万7,000円
新型コロナウイルス感染症臨時交付金 事業	5億7,332万5,000円
学校施設環境改善交付金事業	1億2,301万円
地方公共団体システム情報機構交付金	6,189万1,000円
産地生産基盤パワーアップ事業費 補助金	3,515万円

○三島市駐車場条例の一部を改正  
 する条例

三島駅南口東街区再開発事業用  
 地の取得に伴い、再開発事業に係  
 る工事開始までの間、これを市営  
 駐車場として活用するため、その  
 名称および駐車料金を定める  
 改正を行います。

### 主な質疑

**質疑** 料金設定の根拠は

**答弁** 三島駅南口駐車場の運営  
 は、利用者の利便性と円滑な再開  
 発事業への移行に重点を置いてい  
 る。

### 主な質疑

**質疑** 売上げの減少等を報償金  
 の支給条件としない理由は

**答弁** みしま経営支援ステーション  
 ンで実施している景況調査結果か  
 らも、売上高が前年度比で減少し  
 ている事業者の割合は「旅館・飲  
 食業」が最も高い。

コロナ禍において特に影響を受  
 けていると思われる事業者に対  
 し、可及的速やかに支援金を給付  
 することが重要と考えており、売  
 り上げの減少を要件にした場合、  
 事業所における書類作成や市の審  
 査に相応の時間がかかることが推  
 測されるためである。

駐車料金については、周辺の民  
 営駐車場の料金や立地を考慮し、  
 かつ民営駐車場の営業を妨げない  
 料金体系を調査検討するととも  
 に、三島商工会議所や周辺の商店  
 振興会、町内会などに意見を伺っ  
 て設定している。

○三島市介護保険条例の一部を改  
 正する条例

市の介護保険事業計画の見直し  
 により、保険料算定のための基準  
 額が改められることに伴い、保険  
 料の改定を行うほか、必要な改正  
 を行います。

### 主な質疑

**質疑** 介護保険料引き上げによる  
 高齢者の負担をどう考えるか

**答弁** 保険料の増額の主要要因  
 は、要介護認定者数の増加や、地  
 域密着型事業所の増設による利用  
 者増加見込み、国の定める介護報  
 酬のプラス改定の影響等によるも  
 のだが、基金の取り崩しにより、  
 保険料の上昇抑制に努める。

また、支払いが困難な方に対し  
 ては、引き続き減免等の納付相談  
 に応じていく。

健幸拠点づくり推進事業

- Q みしまタニタ健康くらすの事務局の新たな拠点を三島市民体育館とするとのことだが、予算の減額の理由は。
- A 拠点を三島市民体育館に移し、現在の三島市民体育館の指定管理者に、体育館の業務と合わせて当該事業も委託することで、人件費の削減につながる。今後も、タニタ健康くらすに関する手続きはもちろん、体組成の測定や健康相談、さらに会員向けの健康教室や公民館等の巡回も行う予定である。

GIGAスクール推進事業

- Q ICT支援員の役割はどのようなものか。また、教員の方がICTに対応していくための今後の方針は。
- A 各教員にタブレットが配付され、自主研修をしており、さまざまな活用方法を考えているところである。機器の専門家であるICT支援員が各学校を回り、想定した活用方法の実現に向け相談を受け、そのほか情報の提供を行うなど、各学校のICTに関するレベルを上げることがICT支援員の役割である。ICTに対応していくための今後の方針としては、令和3年度においては、GIGAスクール推進リーダーを教育委員会で任命し、さらに、各学校のGIGAスクール担当者からなるGIGAスクール推進委員会を立ち上げ、情報共有をしながら取り組んでいく。



移住推進のための取り組み

- Q 「三島ぐらし住宅支援事業」や「住むなら三島移住サポート事業費補助金」等、さまざまな関連する事業や補助金を総合的なパッケージとして、どう三島市に移住していただく考えか。
- A 令和3年度は新築に限らず、中古住宅の流通にも注力したいと考えており、三島ぐらし住宅支援事業における既存住宅診断業務を行った住宅について、結果を市のホームページに掲載している。このような物件を選んでいただき、移住・子育てリフォーム事業費補助金を活用してリフォームした上で移住していただければ、非常に効果の高いものになると考えている。

駐車場特別会計

- Q 「市営中央駐車場」について、管理業務委託料が令和2年度と比べ、400万円ほど減額になっているが、その理由は。
- A 管理業務はシルバー人材センターに委託しているが、従来、24時間体制で係員が常駐していたところ、深夜の担い手の確保が難しいこともあり、令和元年度に行った各フロアの監視カメラの更新や令和2年度に行った新しい精算機の導入などにより、夜間は無人化して機械警備とすることで、その分の人件費分の委託料が削減できたものである。夜間の無人化を実現するためにさまざまな設備導入の初期費用がかかっているが、ランニングコストの減少により、その分については1年半から2年で回収できる見込みである。



人事案件に同意

○副市長の選任

副市長 千葉基広氏が令和3年3月31日をもって県へ帰任することとなり、また副市長 梅原薫氏の任期が令和3年4月1日をもって満了となります。さらに、令和3年4月2日から副市長の定数が1人となることに伴い、後任の副市長に同年4月1日付けで市川顯氏を選任することに同意しました。



市川副市長

(全会一致)

○教育長の任命

教育長西島玉枝氏の任期が令和3年3月31日に満了となることに伴い、引き続き西島氏を任命することに同意しました。

(全会一致)

Pick up 4

発議第1号

意見書の提出

○固定資産評価員の選任  
令和3年4月1日付けで梅原薫氏が固定資産評価員を退任することに伴い、新たに鈴木昭彦氏を選任することに同意しました。  
(全会一致)

トネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書を可決し、国および関係機関へ提出しました。

Pick up 5

陳情第1号

陳情の審査

「政治活動のために使用する事務所に係る立札及び看板の類の表示に関する規程」の変更に関する陳情が提出されました。2月定例会最終日に総務委員会に付託され、3月25日に審査を行いました。賛成者なしで不採択すべきものとなりました。次の本会議で委員長報告が行われ、討論・採決される予定です。

予算審査

各常任委員会において、所管する各分野について詳しく審査しました。

公用自動車管理事業

- Q 令和2年度にカーシェアリングを導入したが、今後の予定は。
- A 全ての公用車をカーシェアリングにすることで、公用車の維持管理に係る人件費等のコストはほぼいらなくなるが、使用時間が少ないと事業者のメリットも少なくなる。今は使用時間が少なく、事業者の協力の中でやっただいている。現状では市の職員だけで使うシステムだが、例えば土日にオープンカーシェアとして市民に開放することにより使用時間を増やす仕組みを構築できれば継続できるのではと考えている。

移住・定住促進事業

- Q 新型コロナウイルスの影響を踏まえ、今後どのような形で実施していく方針か。
- A 三島市のポテンシャルの高さであるアクセスの良さ、恵まれた自然環境、文教都市であることなどを、首都圏にいかに関知していくかということが人を呼び込むためには重要と考える。コロナの影響で価値観が大きく変わったことも追い風となっている。みしま移住定住研究会を官民連携で開催しているが、さらに三島市の移住者自身に移住アンバサダーとして移住生活をSNSで情報発信してもらい、PRしていきたい。



緑水会

中村 仁



新型コロナウイルスに対する市長の考え方・方向性とは

令和2年度はコロナによって世界が変化し、指導者たちは正解のない判断を求められ続けた。令和3年度のコロナの状況・影響を豊岡市長はどのように捉え、三島の進むべき「方向性」はどのようにあるべきだと判断したのか伺う。

従前の市民サービスを低下させることなく、ポストコロナを見据えたにぎわい、観光交流人口の回復に向け、三島駅南口再開発、中心市街地の活性化、企業誘致による雇用の創出により、持続的発展につなげる一層の魅力あふれるまちづくりを目指した。

新未来21

川原 章寛



協働から共創へ進化するまちづくりの方向性は

少子高齢化・人口減少が進む中、複雑・多様化する市民ニーズへの対応には、構想・検討段階からの市民・団体等との協働・主体的な参画と連携が不可欠と考えるが、その意義および具体的な取り組みについて、見解を伺う。

共創とは事業の計画段階から民間事業者等と対話により知識やノウハウ、資源を結集し社会や地域の課題解決に資する新たな価値を創出するもの。共創の窓口を設置し、民間事業者から提案を一元的に受け付け、共創のまちづくりを進め持続的な発展を目指していく。

三島市から若い世代の流出が目立つ現況への見解と対策

高校卒業時の進学や就職などにより、若い世代の流出が多い。三島の移住定住施策は手厚いが、近隣市町のような若者の流出を防ぐための施策という視点が見えない。この現況への見解と、その対策を伺う。

進学や就職を機とした若者の転出を防ぐことが重要であるため、最大60万円の奨学金返還支援補助金、また結婚に伴う住宅取得、引越費用等を支援する結婚新生活支援補助金により移住定住を促進する。三島の魅力を首都圏等の若者に強く発信することも重要である。

ポストコロナにおける移住・定住の促進

進学や就職を機に多くの若者が都市圏へ流出しているが、テレワーク等による働き方や価値観の見直しにより、一極集中から地方分散へ、社会構造の変化も期待される。生産年齢人口の減少緩和に向けた取り組みについて見解を伺う。

首都圏等の方々に移住先の候補として選ばれるよう情報発信を強化する。また、Uターンを促進する奨学金返還支援補助金の活用、少子化対策と流出防止を図る結婚新生活支援補助金の創設、さらには首都圏からの移住を促進する移住就業支援補助金の拡充を行う。

水道タンクの耐震化など将来的な防災力強化への見通し

2月3日の最大震度6強の地震は東日本大震災の記憶と恐怖を呼び戻し、コロナ対策で清潔な水の重要性が増す中で、断水の発生が報じられた。重要なライフライン「水道」の現状における課題点を踏まえ、将来の見通しを伺う。

水道タンクの耐震化は、令和11年度末までには、全て完了するよう取り組んでいく。また、近年では、停電による断水など、さまざまな危険が伴う中、飲料水の確保は極めて重要であるため、リスク回避に努めるとともに、水道施設の強靱化をより一層進めていく。

誰もが安心・安全に暮らせる地域社会の構築に向けて

歳を重ねても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、訪問型サービスBを担う互助組織の拡大や専門的な介護保険施設の整備が必要と考えるが、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みについて、見解を伺う。

訪問型サービスBの基盤となる居場所とのつながりを絶やすことなく継続的に活動を支援するとともに、地域密着型事業所の整備を計画的に進める。今後も引き続き、高齢者の方が住み慣れた地域で自分らしく生活し、必要なサービスを利用できるよう努めていく。

公明

鈴木 文子



コロナ禍における市内事業者への支援策は

コロナ禍の中、みしま経営者チームの派遣などさまざまな相談支援をしてきたと認識しているが、国の各種支援策の申請書類作成をはじめ、市内事業者の皆さまへの切れ目のない支援について、取り組みを伺う。

専門家チーム派遣事業では、令和3年1月末時点での実績16件のうち14件が令和2年度新設のコロナ枠での支援であった。ポストコロナに向け、オンラインによる相談や販路拡大デジタル社会への対応に傾注する。また補正予算にかかる事業を順次実施していく。

政和会

古長 谷稔



コロナ禍が生んだ移住促進のチャンスはどう生かすか

首都圏から三島市へ、コロナ禍の影響で令和2年度は転入超過となった。この移住促進のチャンスはどう生かせるか。どうターゲットを絞り込み、どう働きかけ、どうさらなる成果につなげるか、令和3年度の本市の取り組みを伺う。

移住者目線での移住定住ホームページのリニューアルや移住者による本市での魅力的な生活の発信の強化、就職や結婚時に必要な支援、テレワークなどの新たなニーズを掴んだ取り組み、これらを民間企業や市民等と連携し、共創の視点で取り組んでいく。

高齢者へのワクチン接種の環境整備について

コロナ感染症の収束の力となるワクチン接種が、4月から集団接種で開始されるが、身体的に移動が困難な高齢者施設等の入居者や在宅介護の方、また75歳以上で会場まで徒歩などの移動手段が難しい方への対応について伺う。

高齢者施設等に入所されている方や在宅介護の方など施設等での接種の方法を、また徒歩で移動することが難しい方は、タクシー券が利用できるよう検討している。接種を希望される方が、迅速に安心して接種が受けられる環境を整え、接種率の向上を図る。

ピンチをチャンスにする「共創」の実現への取り組み

コロナ禍で社会が一変し、地域の絆が危がまれている。第5次総合計画で掲げた「共創」の実現に向けては、市民や民間の参画が鍵を握る。自治会連合会など地域の団体や市民との相談姿勢をどう変革していくのか取り組みを伺う。

令和2年度は自治会に関係する庁内各課によるプロジェクトチームを設置した。令和3年度は自治会連合会との話し合いの場を設ける予定であり、共創の理念を踏まえ、共に良い地域づくりのため、事業の在り方等について考えていきたい。

防災・減災体制の強化と人材育成の取り組み

コロナ禍における避難所運営に必要な物品および資機材の備蓄と、それを活用した避難所開設訓練など、地域防災力の向上が大切である。今後地域防災を担う人材の育成と、防災・減災体制の強化について取り組みを伺う。

全ての指定避難所に感染症対策用の衛生用品やパーティションを備蓄し、これらを活用した避難所開設訓練を実施した。また、研修会等に参加した女性や防災指導員がその知識を自主防災組織に還元し、新たな人材育成を図り、地域防災力強化につながるよう努める。

東日本大震災から10年、三島市の防災の成果と展望

南海トラフ巨大地震や、近年全国各地で発生している水害など、東日本大震災から10年を節目として、三島市の防災の進化を振り返ってはどうか。10年の取り組みの成果を踏まえた上で、今後の三島市の防災への展望を伺う。

東日本大震災の教訓を受け、公助では各種計画の整備や多くの資機材の整備充実を図り、共助では自主的な避難所運営の実現に力を入れてきた。今後は自助、共助への意識の転換がさらに図れるようマイ・タイムラインの周知と地区防災計画の作成を支援していく。

会派の代表者が施政方針や予算案の概要に対して質問しました。

2月定例会 議決結果

<全会一致となった議案>

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists 38 items including budget amendments and ordinance changes.

<賛否が分かれた議案>

Table with 12 columns: 議案番号, 件名, 結果, and 10 party members (松田吉嗣, 大房正治, etc.). Shows voting results for 5 items.

※ ○：賛成 ×：反対
※ 議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。

<令和3年度三島市一般会計予算案の討論について（発言順）>

Table showing the order of speakers for the budget discussion, including 改革みしま, 政和会, 公明, 新未来21, 緑水会, 反対, 日本共産党議員団, 河野月江.

改革みしま

土屋利絵



市民の声に応える支援策への取り組みは

自己責任の風潮が強くなり、なかなか市民の声なき声が...

子ども配食支援事業においては、サービス希望者への...

子育て、困窮、介護相談を一本化して断らない相談を

さまざまな課題をいくつも同時に抱えているご家庭が増えている。育児と介護、Wケア、...

高齢者、障がい者、子ども、困窮といった各分野で対応している相談支援を一体的に実施...

これからの三島駅南口東街区再開発事業について

人も街も元気になる、最先端のスマートウエルネスフロントを創り上げていくには、これから...

スマートウエルネス構想のフロントとして多様な機能を...

日本共産党議員団

服部正平



社会保障関連事業を後退させない財源確保を

歳入予算は、自主財源・依存財源を併せ、18億6千万円の減収。...

スマート市役所の進化に向けたデジタル化について

職員の事務作業の軽減に向けたRPAの活用は必要と考える。しかし、国が地方に求める...

スマート市役所推進の最大の目的は、市民の皆さまに迅速、便利で、質の高い行政サービスを...

ごみ焼却新施設の広域化に向けた検討状況

当市が今後新設する焼却施設は、近隣市町との広域化を視野に入れているが、既存の施設の耐用年数、処理体系の違いから温度差が生じている。...

近隣市町において、すでに広域処理を実施している市町や、これから広域処理を行う市町を除き、ごみの運搬距離を考慮すると、三島市とごみ焼却処理広域化の可能性がある近隣市町は、裾野市、熱海市、長泉町、函南町の2市2町である。

ここが聞きたい!



甲斐 幸博  
(緑水会)



大河ドラマ鎌倉殿の13人の観光誘客促進  
◎ 県東部・伊豆半島が舞台になる22年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送を絶好の機会と捉え、誘客促進にどうつなげるのか。

◎ 静岡県と東部・伊豆地域の市町と連携し、ドラマゆかりの地の調査、観光施設等をセットにした旅行商品の造成、情報発信や機運醸成など、市町の枠を越えた広域周遊の誘客促進策を講じていく。



### 地域共生社会の今後の取り組み

◎ 複雑化が進む地域の生活課題を解決し、住民の生活の安心・安全を守るため、地域共生社会の実現に向けてどう取り組んでいくのか。

◎ 地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援体制を構築するには、複雑・複合的な課題を解決する既存の相談支援機関の連携・調整を行う多機関協働機能が必要となるため、包括的相談支援体制構築会議を設置して検討を進めていく。

### 他の質問事項 生活困窮者支援の実態と対策



村田 耕一  
(公明)



### 社会的孤立にならないようにするための支援

◎ 気軽に話せる街中ほっとサロンは常設型だが、孤立を余儀なくされている方のために地域へ巡回し、出張サロンはできないか。

◎ 従来の常設型の強化を図るとともに、地域におけるコミュニティの場として活用されている居場所やサロンへ、保健師、栄養士などの専門職が向かって相談を行うほか、出張おれんじほっとサロンの実施に向けプログラムを検討し、出張型の支援体制を推進していく。



### 保育園申し込みから結果通知までの期間短縮

◎ 一次募集期日から結果通知まで約2カ月半、二次結果通知までさらに約3週間かかるが、AIを導入し、審査期間を短縮できないか。

◎ 現状においては、審査期間を短縮することは非常に困難であるが、AIOCR等のICT機器を活用することにより、業務の効率化や作業期間の短縮を図れる可能性があることから、今後も引き続き、ICT機器の導入について、調査研究を行っていききたい。

### 他の質問事項 高齢者バス等利用助成事業の拡充を

高齢者バス等利用助成事業の拡充を



大石 一太郎  
(政和会)



### 企業誘致に伴う立地選定と誘致課題

◎ ファルマバレー構想は、東部の都市連携と産業立地にインパクトを与える事業だが、企業誘致の実績と財政効果を伺う。

◎ ファルマバレー関連企業は、平成24年度以降、大手工場企業2社を含む9社の誘致が決定し事業所を開設している。9社の法人市民税等の収収が令和元年度までで累計3700万円を超えていることから、誘致に対する財政的な効果も十分なものがあると考えている。

### サ高住と、特養への入所者問題

◎ 施設入所は利用者・家族の判断だが、自立者・軽度者はサ高住に、要介護3以上の方は特養にと状況に応じて入所調整はできないか。

◎ 特養などへの入所調整については、ご本人およびご家族などからの相談に応じ、ケアマネジャーや市役所内の総合相談窓口であるシルバークンシェルジュまたは地域包括支援センターが、相談者の現状を把握した上で、ご意向に沿った選択ができるよう支援している。

サ高住：サービス付き高齢者向け住宅。一般的な賃貸住宅に近い自立的な生活を送ることができる住宅。  
特養：特別養護老人ホーム。原則要介護3以上の方が入所する介護保険施設。

### 他の質問事項 非正規職員の処遇改善と職員人事の課題とは



宮下 知朗  
(新未来21)



### 誰もが利用することのできる魅力ある公園に

◎ 生活基盤、地域コミュニティの拠点である公園の魅力をより高めるため、背伸ばしベンチなどの健康器具の整備を推進してはどうか。

◎ 背伸ばしベンチなどの整備については、散歩などによる公園利用者がベンチに腰掛けて単に休むのではなく、ストレッチをしたりすることで健康づくりに効果的と考えられる。今後、地域の意向や公園の特性を踏まえた上で、順次設置を検討していく。



### 公共施設の包括管理導入による期待効果は

◎ 各公共施設の維持管理・修繕業務を包括的に管理する包括施設管理委託の導入を推進するにあたり、民間活力に期待する効果は何か。

◎ 包括施設管理委託の導入により、事務量の大幅な低減とコスト削減が図られるほか、統一的な施設管理による管理の質の向上、施設情報の見える化による効率的な修繕の実施、民間のビルメンテナンスの専門家との連携による職員のスキルアップなどが期待できる。

### 他の質問事項 包括管理の導入に向け地元事業者への配慮を

包括管理の導入に向け地元事業者への配慮を



岡田 美喜子  
(新未来21)



### 地域と地域包括支援センターとの連携強化

◎ 高齢者支援における地域包括支援センターの果たす役割は大きい。自治会と民生委員との連携強化が必要と考えるが、取り組みを伺う。

◎ 地域の方々による高齢者の見守りは、地域包括支援センターの支援活動に不可欠のため、民生委員や自治会の皆さまに地域包括支援センターを広く知っていただき、連絡しやすくなるよう、連絡先記載の周知マグネットシートを配付し、協力体制を強化していく。

### ストリートに音楽が聞こえるまちに

◎ ポストコロナに文化芸術により地域の魅力を高め活性化するために、街中で音楽活動等を行える仕組みづくりを構築できないか。

◎ 街中で音楽活動等を行うことができる場所の選定およびルールづくりを含めた検討会を立ち上げ、仕組みづくりの構築に向けて実証実験を行う。市民文化会館屋外広場については、市民文化会館運営委員会において、屋外広場利用のルールづくりに向けて検討を行っていく。



石井 真人  
(無党派)



### GIGAスクール構想による新しい教育体制

◎ 欠席した生徒、不登校や特別な配慮が必要な生徒に対しタブレット端末は効果的と考えられるが、どのような活用方法を考えているのか。

◎ さまざまな理由により登校することができない児童生徒は、タブレット端末を通じて授業に参加したり、特別な支援を必要とする児童生徒は、困り感に応じて必要なアプリをインストールしたりすることで、個々の状況に応じた学習が可能になるものと考えている。



### スマート市役所による地域の公民館機能強化

◎ ICTの導入で本庁と公民館を情報連携させ、本庁に行かずとも手続きが完結するような公民館機能の強化をすることはできないか。

◎ 本庁のタブレット端末と公民館との連携は、スマート市役所機能の一部としても有効な手段であるため、これらを踏まえ、さらなる公民館の機能強化に努めていく。

### 他の質問事項 三密回避のための来庁時間短縮についての検討

三密回避のための来庁時間短縮についての検討



杉澤 正人  
(無党派)



### 向山古墳群の文化的価値啓発への取り組み

国指定の公園を目指すとのことだが、文化財課の見解として、この向山古墳群の史的価値をどのようなものと把握しているか。

A 向山16号墳は、伊豆半島における最も古い前方後円墳と認識している。主体部の構造も堅穴式石郭であることから、初期ヤマト王権に認められた権力者が造営した古墳といえる。古墳群としても、16基の時間的経過が観察でき、全国的にもまれな史的価値を有する。



### コロナ禍における学校現場での工夫は

コロナ禍という通常とは異なる制限の中、学校生活や教科指導の現場で、教員の工夫が良い効果をもたらした事例を伺う。

A 差別や誹謗中傷について学習した児童生徒が課題意識を持ち、動画を作成したり、シトラスリボンプロジェクトに参加したりした。体育では、少人数での基本の活動に時間をかけたことで、苦手意識を持っていた子どもが自信を持つきっかけとなった。



佐藤 寛文  
(無党派)



### 退職した市職員の再雇用における課題

公務員の特権として希望を出せば必ず再雇用されているのが市の職員であるが、再雇用における働き方の課題や問題点を伺う。

A 無収入期間が発生しないように雇用と年金の接続を図る必要がある、国の方針に基づき、再雇用している。課題は、職員本人の職位逆転による混乱と戸惑い、モチベーション維持の困難性がある。また、若手職員が業務を頼み難いという状況もある。

### 市民の皆さんに信頼される市政運営を

令和元年度に策定された子どもの貧困対策推進計画の実現に向けて、令和3年度の取り組みを伺う。

A 令和2年度には、子どもの貧困問題に関するパンフレットを各自治会等において回覧していたが、子どもの貧困の周知を図った。令和3年度では、子どもの食への支援を目的とした子ども配食支援事業とも併せて、民生委員・児童委員の皆さまに対しても周知を広げる。



河野 月江  
(日本共産党議員団)



### 感染拡大第4波に備えた検査施策の拡充を

高齢者・障がい者施設でクラスターの発生が多い全国の状況をふまえ、全ての新規入所者に対しPCR検査の費用を助成できないか。

A 新規入所者に対し、PCR検査を行うことは、施設内における安全性を確保するため必要なことと考える。65歳以上の三島市民で本人の希望があれば、社会的検査の対象者として行うことは可能であり、市内に住民登録が無い方等については情報収集し調査研究していく。



### 生活保護をためらいなく申請できるように

相談者が申請をためらうことのないよう、制度に関する広報や情報発信の内容・方法について、他市町も参考にして改善できないか。

A 生活保護に関するホームページでは、コロナ禍における制度変更等が確実に行き届くよう周知してきた。これからも他自治体のホームページも参考にする等、生活に困窮された方にさらに寄り添ったわかりやすい内容になるよう、ホームページの充実に努めていく。



野村 諒子  
(緑水会)



### 新型コロナウイルスの影響による地方債の慎重な活用

緊急事態宣言以降、社会の活力が失われ市税収入にも影響が出ているが、減収を補填する地方債の扱いは慎重にできないか伺う。

A 減収補填債については、金利の低い公的資金の活用となるほか、元利償還金の75%は交付税措置されるなど、自治体の負担が軽減される措置がされている。取り扱いは必要な市民サービスを確保しつつ、状況を見極め真に行うべき事業を選択するなど慎重に行っている。

### 地域サロン等の会場の固定資産税減免の条件

高齢者の居場所や外出支援等を目的とする地域サロンが、個人所有の施設を利用する場合、固定資産税を減免にする条件とは何か。

A 個人所有の施設を利用した地域サロンが、固定資産税の減免措置を受けるための条件は、賃料もらわずに無償で提供し、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与すること、また、減免対象となる固定資産が目的のために専用とされていることである。



## 表紙の写真について

令和2年度の1年間、三島の昔の風景をテーマに表紙に写真を掲載してまいりましたが、好評につき今年度も引き続き掲載していきたいと思っております。

今号の表紙の写真は、三島市役所です。市制20周年となる昭和35年に建築されました。向かって左側にそびえ立つ望楼は、現在は改築により撤去されましたが、当時は消防署の遠くを見渡すためのやぐらとして利用されていました。

また、表紙の掛は三島柄という三島茶碗や三島暦にルーツを持つ文様で、古典柄の流文と、新柄の梅花藻を組み合わせています。

議会だより編集委員会一同



## ICT推進に向けて議員研修会を開催

1月15日(金)、北名古屋市議会議員の桂川将典氏を講師に、「議会のデジタル化の推進」をテーマに議員研修会を開催しました。

研修会はコロナ禍における開催のため、リモートで行いました。

三島市議会ではICT推進検討特別委員会を設置し、議会においてタブレット端末を導入するための検討を行っており、活発な質疑や意見交換が行われました。





# 政務活動費収支報告

三島市の政務活動費は1人当たり月額15,000円が会派に交付されており、議会のチェック機能強化や政策立案能力向上を図るため、調査研究や資料作成・購入などの政務活動への補助として活用しています。

収支報告書や活動報告書、領収書などの写しは、市役所本館1階の情報公開コーナーに常備しており、収支報告書については市議会ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

## 令和2年度政務活動費執行状況（令和2年4月～令和3年3月）

### 1 会派別執行状況

（単位：人、円）

項目	緑水会	新未来21	公明	政和会	改革みしま	日本共産党 議員団	無会派 (フォーラム三島)	無会派 (推明会)	無会派 (三島無所属の会)	新政会	フォーラム三島	合計
所属議員数	6 4-5月4人 6-7月5人 8-3月6人	3	3	3	2 4-5月3人 6-3月2人	2	1 8月-	1 1月-	1 1月-	5 4-12月	2 4-7月	22
交付額	990,000	540,000	540,000	135,000	390,000	360,000	120,000	45,000	45,000	675,000	120,000	3,960,000
支出額	678,797	118,088	38,147	79,573	254,087	18,843	883	0	48,669	586,465	3	1,823,555

※支出超過額は各会派の負担とし、残額は市に返還しています。

### 2 支出費目別内訳

（単位：円）

項目	緑水会	新未来21	公明	政和会	改革みしま	日本共産党 議員団	無会派 (フォーラム三島)	無会派 (推明会)	無会派 (三島無所属の会)	新政会	フォーラム三島	合計
調査研究費	0	0	0	0	0	7,520	0	0	0	0	0	7,520
研修費	0	0	0	5,000	0	0	0	0	0	11,930	0	16,930
広報費	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000	0	200,000
広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,460	0	22,460
資料作成費	317,115	77,676	23,407	6,736	1,866	2,323	883	0	9,598	82,483	3	522,090
資料購入費	256,806	40,412	14,740	67,837	252,221	9,000	0	0	39,071	362,792	0	1,042,879
事務所費	4,876	0	0	0	0	0	0	0	0	6,800	0	11,676
その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	678,797	118,088	38,147	79,573	254,087	18,843	883	0	48,669	586,465	3	1,823,555

※すべての会派において要請・陳情活動費、人件費、広聴費に該当する支出はありませんでした。

### 議長交際費

議長交際費は、議長が市議会を代表して、外部との交際上特に必要と認める場合に支出する経費をいい、その支出内容や相手が、社会通念上妥当と認められる範囲内の金額で支出しています。

令和2年度 支出額

区分	金額
会費等	10,330円
弔慰金	26,500円
賛助金	10,110円
合計	46,940円

#### 【5月臨時会の予定】

5月17日(月) 常任委員の選任ほか

#### 【6月定例会の予定】

6月8日(火) 議案審議

15日(火)～18日(金) 一般質問

23日(水) 議案審議

(日程は変更になる場合があります。)

議会だより編集委員会

委員長：村田 耕一 副委員長：甲斐 幸博

委員：宮下 知朗 沈 久美 藤江 康儀

河野 月江 佐藤 寛文